

令和元年度 第1回大阪府貝塚南高等学校 学校運営協議会議事録

日 時：令和元年6月19日（木） 15：30 ～ 17：00

場 所：大阪府立貝塚南高等学校 会議室

出席委員・事務局(敬省略、順不同)

吉川 測雄 氏

藤野 信治 氏

岸田 米夫 氏

加田 博之 氏

欠席委員

山田 利彦 氏

南 芳治 氏

【1】校長挨拶

【2】委員・事務局員の紹介

出席委員の紹介

【3】会長選出

会長は吉川測雄氏が互選によって選出

副会長は藤野信治氏が互選によって選出

【4】会長挨拶

【5】本校職員紹介

【6】報告

- ・進路指導部より平成31年3月卒業生の進路結果を中心に報告
- ・教務部より令和元年度の活動予定を報告
- ・生活指導部より生徒の状況について報告
- ・行事活動部より令和元年度の活動予定を報告
- ・第1学年より学年独自の行事や生徒の状況について報告
- ・第3学年より学年独自の行事や生徒の状況について報告
- ・首席より広報活動について報告

【7】協議事項

○令和2年度教科用図書選定について

(提言)

- ・昔、学校と教科書会社との癒着があったので注意してほしい。

その他、特に意見がなく教科書選定は承認を得られた。

○令和元年度学校経営計画について

- ・めざす学校像、新しい学習指導要領に向けての変更点を中心に説明

(協議・提言)

- ・ICT化について、先生方たちは機器を使いこなせているのか。
→本校は設置型のプロジェクターがあり、多くの先生で活用している。
今後は生徒がICT機器を活用していくことに向かっていく。
- ・スマホ等のように見るだけの授業になり文字を書くことが減っていくが、もっと手を動かす授業をすべきでは。
→履歴書等で文字を書く練習は別途する必要があるが、昔からの良い伝統は残しつつ、ICTを取り入れるところは取り入れて効率化していく。
- ・流行というわけではないが、主体的に学ぶ力、思考力判断力をどのように身に付けるか。中学校では既に取り組んでいるが、高校でもどのように授業を変えていくか難しいところもあるが、一斉型の授業をどうかえていくかに取り組んでほしい。
→新しい学習指導要領では生徒達が何が出来るようになるかが求められている。ただ、学校現場でそれがすぐに取り入れられるかという難しい所もあり、我々も勉強しなくてはならない。最後は先生が誠意と熱意をもって取り組んでいくことである。
- ・～～を何%上げるだといった数字の目標も大切だが、先生が生徒と触れ合える時間が何時間あったかということが大事なのでは。
→数字を示すことも一定仕方がないが、一番大事なことは先生方の熱意である。
- ・クラス数が減り配属される先生の数も減ると、行事などで出来ないことがでてくる。一方で小規模の学校には全員の顔がわかるなどのメリットもある。
- ・地域との連携はさらに進めていただきたい。
- ・中学生の保護者達が高校卒業後の進路を意識している。受験対策とカリキュラムをどう示すかが大事である。

- ・本校では、先生の数が減り、クラブ顧問が当てられなくなり困っている。中学ではどうか
 - 来年には全学年で9クラスとなり、活気が無くなってきている。行事で盛り上げたいが働き方改革のこともありバランスが難しい。
 - すべての先生が顧問を担っている。今後はクラブの数を減らさないといけな
いと考えている。現在は先生方に土日の負担を減らしながらお願いしている。
- ・これ以上先生の数が減ると本校はクラブの数を減らさなければならない。教員の働き方も週3日勤務など様々であり、クラブ顧問を当てるのが難しい。
 - 外部講師をあてることは金銭面的にも難しい。海外では子ども達はクラブチーム等に所属している。本当は教育とクラブ活動は別物である
- ・人材バンクの仕組みはあるが活用が難しい。2~3のクラブをまとめて、活動時間を揃えたりするしかない。
- ・PTAにクラブに関わる費用を頼めないか
 - 生徒全員に還元できることに予算を使うのが本来であり、クラブだけとなると難しい
- ・中学では具体的に深い学びはどう実践しているか。
 - 取り組んでいる最中ではある。熊取南中学では4人程度の班で共同学習をして答えを出していく授業をしている。テーマは子どもにとってはちょっと難しい内容を取り扱うことで考えさせている。
- ・先生と生徒が触れ合う時間を大切にしてほしい。

「令和元年度学校経営計画」について、学校運営協議会での承認を得られた。

【8】事務連絡

【9】校長挨拶